

## 分析化学 2

2 年【前期】水 3・4 講時 (10:25 ~ 11:55)

田中秀治, 竹内政樹

ここで紹介された資料は**蔵本 2 階授業サポートナビコーナーにあります**ので、どうぞご利用ください。

(同じ本が 3 冊以上ある場合は★の場所にもありますので、そちらもご覧ください)

## 図書

授業のテーマをつかみ事前学習や復習を効率的に進めるために、これらの図書を読むことから始めましょう

□ **スタンダード分析化学 角田欣一, 梅村知也, 堀田弘樹 著 裳華房 2018**

→ 化学的分析法から機器分析法に至るまで、分析化学全体をカバーした書です。1 冊にコンパクトにまとめられていますが、かなり詳しく、研究者レベルの高度な事項にまで触れられており、2018 年の出版ですので内容的にも新しく、優れた専門書です。参考書としてお薦めします。

【433||Ts】

□ **スクーグ分析化学 Skoog, West, Holler, Crouch 著, 小澤岳昌 訳 東京化学同人 2019**

→ 国際的に定評のある分析化学教科書の第 9 版の邦訳。非常に詳しく丁寧に書かれています。残念ながら本翻訳書は、全訳ではなく部分訳であり、割愛された内容も多くあります。本格的に勉強したい人には原著をお薦めします。

【433||Su】

□ **Principles of Instrumental Analysis / D. A. Skoog, F. J. Holler, S. R. Crouch, Cengage Learning, 2018**

→ 上記「スクーグ分析化学」の姉妹書で、機器分析法に焦点を絞った専門書です。電子回路や信号処理の解説から始まり、各種機器分析法をほぼ余すことなく網羅しています。詳しく深く丁寧に書かれており、世界最高峰の機器分析学書だと思います。邦訳はありませんが、機器分析学を本格的に勉強したい人にお薦めします。

【433||Sk】

□ **原書 7 版 クリスチャン分析化学 I. 基礎編 / G. D. Christian, P. K. Dasgupta, K. A. Schug 著 丸善出版 2016**

→ 国際的に定評のある分析化学教科書の第 7 版の第 1 章～15 章の邦訳。分析の基本操作、分析データの取り扱い、化学量論、化学反応・化学平衡、容量分析法、電気化学分析法が扱われています。第 7 版では、Dasgupta と Schug が執筆陣に加わり、電子工学的内容がさらに充実するなど、大幅な改訂が行われています。

【433||Ch||1】

□ **原書 7 版 クリスチャン分析化学 II. 機器分析編 / G. D. Christian, P. K. Dasgupta, K. A. Schug 著 丸善出版 2017**

→ 国際的に定評のある分析化学教科書・参考書の第 7 版の第 16～24 章の邦訳。分光分析法、分離分析法、自動分析法が扱われています。第 7 版では、Dasgupta と Schug が執筆陣に加わり、電子工学的内容がさらに充実するなど、大幅な改訂が行われています。

【433||Ch||2】

□ **物理系薬学 III. 機器分析・構造決定 (スタンダード薬学シリーズ II 2) / 日本薬学会 編 東京化学**

## 同人 2016

- 薬学教育モデル・コアカリキュラムに準拠した教科書・参考書で、各種機器分析法を詳しく丁寧に解説しています。  
2 色刷で欄外に補足解説や重要語の英訳を配し、薬剤師国家試験出題問題に基づいた練習問題を多く収録するなど、薬学生の自学自修にも適した書です。

【499|Su|2-3】

## □ 基礎教育シリーズ 分析化学 機器分析編 〈第2版〉/本水 昌二ら 12 名著 東京教学社 2021

- 分光分析法，電気化学分析法，分離分析法，構造解析法など，代表的な機器分析法の基礎的事項が丁寧に書かれています。理系全般向きの分析化学書です。

【433|Ki】

## Web

授業のテーマに関連したデータベースやサイトです

## □ 日本薬局方電子版/厚生労働省

【<http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-11120000-Iyakushokuhinkyoku/JP17.pdf>】

- 日本薬局方の電子版をダウンロードすることができます。